



広報

秋田

どじょうめ

平成3年(1991年)

11月15日

No. 672

(毎月1日・15日発行)

発行/秋田県五城目町



11月10日、
杉沢保・小・中学校学芸発表会にて

• 産業文化祭褒賞授与式	2・3
主 町功労者表彰式典	4
な 役場の電話番号が変わります	7
内 ふれあい広場	8
容 芸術・文化の秋 写真特集	10
• 五城目人物山脈	13

おにいちゃんの劇
たのしつい

町功労者表彰式典

功績をたたえ功労者などを表彰

町功労者表彰式典は、十一月三日午前十時から広域体育館を会場に、町内外からの招待者約五百人が出席して行われました。今年度の町功労者には、安東誠氏ら三人。また、各分野における功労者として加藤幸次郎氏ら十四人が選ばれました。

式典は、コールもありやまの皆さんのが歌う「若き郷土の歌」で幕を開けました。続いて出席者全員が「君が代」を齊唱。佐藤町長の式辞の後、功労者諮問委員を代表して新谷秋蔵さんが選考経過について報告しました。

この後、表彰状と記念品の授与が行われ、功労者の皆さんに町長から賞状と顕彰牌が手渡されたほか、栄光賞や善行者、町内会長功労の方々へも表彰状などが贈られました。

また、式典参列のため来町された千代田区神田旭町町会長の杉山さんから町長へ、台風十九号災害見舞金が手渡されました。

アトラクションとして五城目天翔太鼓が「祝い太鼓」を披露、式典に華を添えました。式典の後、町民センターでは祝賀会が開かれ、功労者らの受賞を祝いました。

なお町功労者表彰、功労者表彰は紹介済みですので、それ以外の方々を紹介します。

- ◎献血功労表彰
伊藤孝之（田町）
- 鈴木新一郎（五城目営林署）
- 伊藤敏和（町村）
- ◎納稅貯蓄表彰（団体）
岡本納稅貯蓄組合
- ◎健康優良世帯表彰
伊藤有一（落合）
- ◎加賀谷力司（昭辰町）

五城目町芸術文化協会は、本年度の功労者として個人三人と一団体を表彰します。五城目町芸術文化協会は、本年度の功労者は、加藤良一で表彰式典を行いました。本年度の功労者は、加藤良鵬（ヨシ）氏、小玉爾治氏、猿田天鳴（正男）氏、和光会（会長・秋山三男氏）の三氏一団体。

皆さんには、長年にわたり芸術文化振興のために尽力されました。功績は次のとおり。

▽加藤良鵬（ヨシ）氏

五城目吟詠会の一期生として、長い間、後進を指導する

とともに、会員の増加促進と

斯道向上のために貢献されま

たし、再建に尽力されました。

△和光会（会長・秋山三男氏）

協会の創立と同時に会員と

して加入。以来、五十三回に

わたり和光展を開き、中央展、

県展などに数多くの人材を送

るなど地域の美術振興に尽く

されました。

△伊藤良鵬（ヨシ）氏

五城目吟詠会の一期生として、長い間、後進を指導する

とともに、会員の増加促進と

斯道向上のために貢献されま

たし、再建に尽力されました。

△猿田天鳴（正男）氏

協会の事務局長として、停

滞して

いた組織の拡大と財政

基盤の強化に五年間責務を果

たし、再建に尽力されました。

△佐藤良鵬（正男）氏

四月富津内東婦人会（結核予防婦人会）連絡協議会会

長、五城目地区（旧五城目保

健所管内）結核予防婦人会連

絡会副会長を就任し、平成二

年三月に退任されました。

その間、結核予防活動の活

発化に努め、研修会・健康管理等を積極的に推進し、長年

にわたり後継者育成にも尽力、

その功績が認められ今回の受

賞となりました。

△佐藤良鵬（正男）氏

「今回受賞できましたのは、

一緒に頑張って下さった皆さ

人のお陰です」と伊藤さんは話していました。

△佐藤良鵬（正男）氏

このほど、烟町の坂谷俊一

さん（七十歳）に、東北通商

産業局長から表彰状が贈られ

した。
△小玉肅治氏
昭和二十年から長い間、伝統を誇る西野番楽の保存のために努め、後継者育成に献身的に尽力し、保存会発展に寄与されました。

△猿田天鳴（正男）氏
協会の事務局長として、停滯していた組織の拡大と財政基盤の強化に五年間責務を果たし、再建に尽力されました。

△和光会（会長・秋山三男氏）
協会の創立と同時に会員として加入。以来、五十三回にわたり和光展を開き、中央展、県展などに数多くの人材を送るなど地域の美術振興に尽くされました。

△伊藤良鵬（正男）氏
花美さん（65歳）に、日本公衆衛生協会長表彰が贈られました。伊藤さんは、昭和三十五年四月富津内東婦人会（結核予防婦人会）に入会。以来、同会会長や五城目町婦人会（結核予防婦人会）連絡協議会会長、五城目地区（旧五城目保健所管内）結核予防婦人会連絡会副会長を就任し、平成二年三月に退任されました。

△佐藤重治（中川原）氏
花美さん（65歳）に、日本公衆衛生協会長表彰が贈られました。これまで秋田営林局長賞など多くの賞を受け、六十年には「伝統工芸士」の称号を受

けています。坂谷さんは、昭和十一年四月、坂谷桶樽製作所の三代目として家業を継ぎ、以来、職人の町の伝統を守り続けるとともに後継者育成にも尽力されています。

△佐藤重治（中川原）氏
花美さん（65歳）に、日本公衆衛生協会長表彰が贈られました。これまで秋田営林局長賞など多くの賞を受け、六十年には「伝統工芸士」の称号を受

けています。

△佐藤重治（中川原）氏
花美さん（65歳）に、日本公衆衛生協会長表彰が贈られました。これまで秋田営林局長賞など多くの賞を受け、六十年には

統計調査員、統計事務職員
4氏に秋田県知事表彰

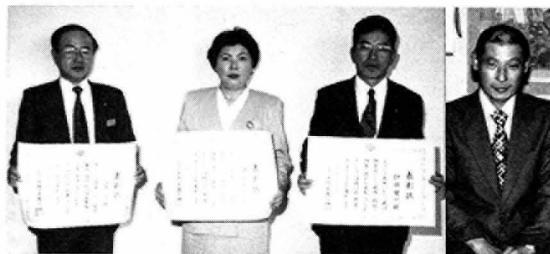
が特選に選ばれました。

六十歳をすぎているので一二

秋田県統計功労者表彰式が
十一月三十一日、県正庁で行わ

一月三十一日、県立病院にて行われた式典で、本町浅見内の小玉文雄さん、中川原の伊藤孝子さん、大川三区の伊藤建一さん、役場庶務課参事の石井浩さんの四人に秋田県知事より表彰状

が贈られました。



左から石井浩さん、伊藤孝子さん
伊藤建一さん、小玉文雄さん

**国民年金作文コンクール
大川小から10人が入選**



大川小学校五年

国民年金について

工藤 雅史（6年）
佐藤絵里香（6年）

皆さんは長年にわたり統計調査員、事務職員としてその職務に精励し、毎回、各統計の特性を把握して正確な調査活動を行い、調査の適切な実態に尽力されたことが認められたものです。

百二十六点の応募があり、「作文を書く力を育てよう」と頑張っている大川小学校からは、五年生と六年生合わせて三十二点を出点。特選以外にも銀賞に二人、佳作に七人が入選する好成績をあげました。

んはたばこを買ったり病院に行ったり、いろんな事にお金を使っています。

だから、おじいさんとおばあさんは、「年金のあるおかげでとても助かる。」と言っています。

雀館公園野球場拡張工事に伴う
通行止めについて

通行止めについて

このことについて、施工期間中、事故防止のため町道雀館リバーフロント線および、町道雀館運動公園線を通行止めにします。
体育館および温水プール等を利用する際には、運動広場を通り抜けできませんので、ご協力をお願い致します。

一、期間 平成三年十一月五日～平成四年三月二十五日

2



ぼくは、初め国民年金つて
なんだろうなと思いました。
そして、先生から渡された
資料を読んでいるうちにだん
だんわかつてきました。

ぼくはとてもよい考え方だと思います。
それから、お父さんがケガをしたり、死亡した時に子供のいるお母さんにも支払われるそうです。
ぼくはお父さんが病気やケガをしないで長生きしてほしいです。

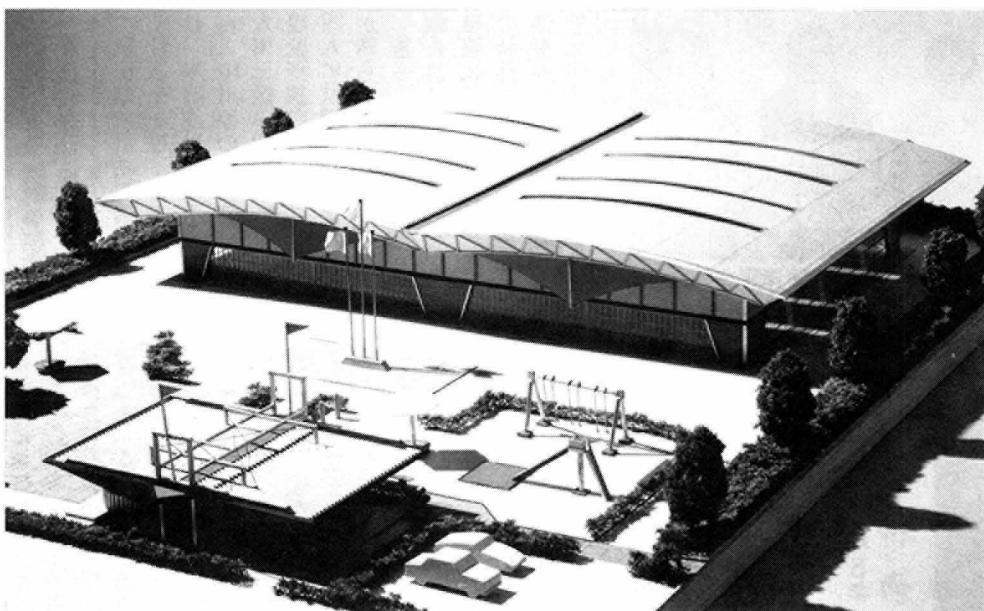
でも、もしもの時は国民年金制度があるからとても安心です。

ぼくたちも、年をとつて病気やケガをした時に困らないように、二十歳になつたら国民年金に入りたいと思つています。

屋内ゲートボール場

新築工事に着手

屋内ゲートボール場スパーク五城目新築工事に伴う安全祈願祭が、十一月七日午前十時から、工事請負業者・三和興業株式会社によって行われました。



完成予定図



工事の無事を祈り
行われた安全祈願祭

屋内ゲートボール場は、町の五大プロジェクトの一つである「福祉保健複合施設ゾーン」の一角に建設されるもので、鉄骨平屋立体トラス構造、屋根付きの建物で、雨や雪でもゲートボールが楽しめます。面積は1,070・14平方メートル、クレイ舗装2面。また、クラブハウス（面積80・24平方メートル）には、トイレや休憩室も完備されます。

完成は来春三月の予定です。

祈願祭には、工事関係者など約四十人が出席。工事の無事を祈りました。

屋内ゲートボール場スパーク五城目新築工事に伴う安全祈願祭が、十一月七日午前十時から、工事請負業者・三和興業株式会社によって行われました。

台風被災者のみなさん
住民税を軽減できます
修理の領収書は保管を

台風19号災害関係

台風19号によって、住宅や家財などに損害を受けたときは、損壊免除により、来年度の町県民税を軽減することができます。

このたびの台風十九号によって家屋などに被害を受けた場合も、損壊免除の対象となり、来年度の町県民税を軽減することができます。

災害で、住宅や家財などに損害を受けたときは、損壊免除により、来年度の町県民税を軽減することができます。

台風被災者のみなさん
住民税を軽減できます
修理の領収書は保管を

申込み・問い合わせは十
月二十五日まで、五城目森林組合（☎52-3135）または役場林政課（☎52-2100）へ。

▼申請要領

- ①申請者の住所、氏名
- ②施業実施箇所
- ③植栽する面積
- ④植栽する苗木の本数

例年、年末のし尿汲み取り…
申し込みはお早めに

▽汲み取り申し込み期限
・12月5日まで
・12月10日まで
・12月10日まで

汲み取りの必要がある家庭は、申し込み期限までに汲み取り業者まで申し込み下さい。

なお、来年は一月十二日より（し尿処理場の改修工事のため）汲み取り開始となります。

五城目地区、馬川地区、大川地区、内川地区、森山地区

▽汲み取り業者
・五城目衛生舎（工藤）
・南秋衛生（菅生）
☎52-14063

害を受けられた皆様には、心からお見舞い申し上げます。
先般、森林災害復旧事業申請の申し込みを至急提出依頼しましたが、まだ申し込みをされていない方で、今後所持する方には、その他の事業（指定された事業地造林事業、被害地造林の整理、植栽（O・1ha当たり二百本以上）を予定している方は、他の事業（指定された事業地造林事業、被害地造林事業、県単復旧造林事業）により実施する予定です。

申込み・問い合わせは十
月二十五日まで、五城目森林組合（☎52-3135）または役場林政課（☎52-2100）へ。

▼申請要領

- ①申請者の住所、氏名
- ②施業実施箇所
- ③植栽する面積
- ④植栽する苗木の本数

今後は、これら被害木の伐木、造材等の作業が実施されることになりますが、被災地は足場も悪く、また掛り木等が多く、極めて危険な作業となることが予測されます。

つきましては、これまで以上に細心の注意を払い、労働災害の未然防止に万全を期すようお願いします。

○・1ha当たり（一反歩当たり）二百本以上植栽のこと
※補助率は全部の事業一率、標準事業費の七十五%です。

伐木、造材作業に
ご注意ください

平成4年1月1日から 五城目町役場の電話番号が変わります！

***** 接続のいろいろ解消、担当課へ直通 *****

課室名	電話番号	主な仕事の内容	課室名	電話番号	主な仕事の内容
役場代表番号	52-5100		農業委員会	52-5295	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の売買について ・農地の転用について ・農地の賃貸借について
民 生 部	住民課	52-5112	長寿社会対策室	52-5298	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護について ・在宅老人短期保護について ・入浴サービスについて
	保健衛生課	52-5128	総務課	52-5312	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護、行政相談について ・福祉バスについて ・物品の発注、購入について ・統計について ・普通財産の管理について
総務部	水道課	52-5133	財政課	52-5322	<ul style="list-style-type: none"> ・町財政について ・予算編成、管理について
	税務課	52-5144	営繕課	52-5332	<ul style="list-style-type: none"> ・町有施設の維持管理について ・街灯（防犯灯）の維持管理について
出納室		52-5152	選挙管理委員会	52-5318	<ul style="list-style-type: none"> ・各種選挙の執行について ・永久選挙人名簿登録および閲覧について ・明るい選挙推進協議会について
社会福祉協議会		52-5192	秘書課	52-5342	<ul style="list-style-type: none"> ・町長、助役の秘書について ・儀式、慶弔について
産業部	農政課	52-5215	企画調整課	52-5352	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致について ・重要施策の総合調整および推進について ・長期総合発展計画について
	商工観光課	52-5222	文書広報課	52-5362	<ul style="list-style-type: none"> ・広報、広聴について ・町内会、町政協力員について
	林政課	52-5233	教育委員会 学校教育課	52-5372	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の管理運営について ・児童生徒、幼稚園について ・育英資金について
建設部	建設課	52-5252	開発公社	52-5392	<ul style="list-style-type: none"> ・土地売買および宅地分譲について
	都市整備課	52-5263	コンピューター室	52-5319	
<p>※役場庁舎以外の町の施設は、従来通りの電話番号です。</p> <p>※年内に役場の電話番号案内を配付します。</p>					

「故郷に乾杯」

高橋敦子



ふるさと五城目会

20

でしょか。東京へは、主人の転勤で来てから十八年目になります。二人の子供を育てていく中で、つらいことがあっても何とか乗り切ってこられたのは、回りの人々の暖かい思いやりがあったからだと思います。

幸い、私は五城目信用金庫に五年間勤めていました。そのおかげでしょうか、夏の帰省時、朝市を見に行くのが楽しみです。ふと、昔のお客さんだったおじさんやおばさんが、魚や野菜などを売っている姿を見るにつけ、得も言われぬ喜びに浸ります。時間と歳月が、そこで見事に埋まる瞬間です。そして、自分も元気づけられます。「あねさん、何がひとつ持つてけれ」。その言葉が嬉しくて、ついいつ買い物のしすぎで帰りは宅急便の世話になります。

（つづく）

企業訪問⑩

(株)シック関口

数々の
ブランドファッショングループを生み出す
トレンドステーションです！



**Shic
SEKIGUCHI**



(株)シック関口
代表取締役
関口正之

婦人服のニット製品を中心で、創業時より高級品を扱っています。アニエスベー、山本寛斎ボップインターナショナル、ジャパンなど有名メーカーと取引しています。高品質が求められているため、良い人材の確保に力を入れています。また月一回は東京から営業を呼び、最近の流行や出荷した商品の動向、さらに先モノ情報など普段目に見えない情報を集めています。

（つづく）

●企業の概要

代表取締役 関口正之

創業年月 昭和52年10月

社員 男女65名

生産品目 ニット婦人服
ワンピース、ジャケット、ブラウス、Tシャツ、パンツ、スカート

年商 1億4,000万円

事業所 五城目町字石田六ヶ村堰添144
☎ 52-4224 FAX 52-4128

※ニット生地による私服作成可能（生地支給）
(自分のオリジナルデザインにて)

※社員募集中

朝早く、集合してバスに乗り、目的地である馬場目岳へ向かいます。当時は森林軌道がありましたので、これに乗つてさらに奥へと進みます。下を覗くと絶景の場所には違ひありませんが、その時は怖かったので、ただただ前を見ながら祈るような気持ちだったと思います。出羽山岳会の人々や、その日募集して集まつた人々の中には、かなり高齢の方や小学生までいた一団で、目的を一つにした行動でした。

ブナ林を下に見て、樹木が色付く中を鹿の通り道を教えてもらひながら、頂上につく頃はみんな満足感にはつてしましました。頂上から見た風景が、パノラマのごとく目に焼き付いています。眩しい位の秋真っ盛りでした。『女の人人は、出産の苦しみを山登りすることによってつらさを耐えられるから、一度は山を体験したほうがいいよ』と教えられ、元気づけられました。

もう二十五年前の出来事が、鮮やかに目の前に展開するのは秋の季節のせい

『ふるさと五城目会』が出来、私も五城目町の窓口から東京の窓口にと顔を出しています。肩ひじはらず、ちょこっと遊びに行く気分でこの会に来て下さい。青春のほろ苦い思い出も、つらかった話など固く縛り過ぎてる風呂敷を少しゆるめて何かしゃべって下さい。きっとみんなで、うなづきあう光景があります。

東京のビルの中で、五城目町の盆踊りを意気揚々と踊りませんか。残っている人生を焦らず、将来の夢を抱いていたいものです。

故郷の山や川に思わず乾杯

私は達を育み暖かく迎えてくださるみなさまにいつももいつまでも

（つづく）

町内の保育園児が全員集合

—「あつまれ元気っこ！」を開催—



みんなで一緒に“どうぶつたいそう”

十月二十五日午前、広域体育館を会場に、町内の保育園児が一堂に会して「あつまれ元気っこ！」が開かれました。

現在、町内の保育園では「共感」といやりを育てる「人間関係」をテーマに、二年間（平成二年度、三年度）の県指定を受けて保育を進めています。この企画は、その中の交流保育の一つとして開催されたものです。

当時は、午前十時に全員が整列。うた、ともだちできちゃつた、で始まり、動物たいそう、ぬいぐるみショー、全員で輪になつてのゆうぎなど、約一時間、楽しい交流が行われました。

東松山市商工会青年部と情報交換

—五城目町商工会青年部—



商工会館前で全員で記念撮影

五城目町商工会青年部と埼玉県東松山市商工会青年部の交流会が、十月二十七日午後三時から、五城目町商工会館で行われました。東松山市商工会青年部は、三十周年を今年六月に迎え、その記念事業として、九日間にわたり北コースと南コースで自転車による日本縦断を計画、その途中、本町に立ち寄ったもの。

交流会では、自己紹介について、お互いの活動内容について約一時間情報を交換。そして、全員で記念写真を撮り、早速今日の宿泊地である秋田市へ向け、小雨の中を出発しました。

教育関係者ら200人が参加

—五城目町教育振興大会—



市民センターで行われた講演会

第二十八回五城目町教育振興大会は、十月八日、町民センターなどを会場に、町内の教育関係者ら約二百人が参加して開かれました。

「学び続ける心を求めて」を主題とした今年の大会では、開会のつどいに統いて、人が参加して開かれました。

「学び続ける心を求めて」を題し講演。昼食をはさんで午後からは、実技研修（弓道、グラウンドゴルフ、お茶など九コーナー）が行われました。

内川・富津内・杉沢の三保育園児四十六人が参加しての山びこ交流会が、十月十六日、杉沢保育園を会場に行われ、いも焼きやゲームを楽しみました。

当日はあいにく小雨交じりの天気でしたが、父兄の皆さん方が火を焚き、事前に子どもたちが新聞紙にくるんで水で濡らし、ホイルに包んだサツマイモを焼きました。焼き上ったイモは一人に二本ずつ配られ、みんな「フーフー言いながらおいしそうに食べていました。

また、カードの絵合わせゲームも行われ、園児たちは自己紹介し合いながら楽しい一時を過ごしました。

いも焼きやゲームを楽しむ

—3保育園の山びこ交流会—



“焼いもおいしいよ～”

芸術・文化の秋写真特集



花笠音頭をみごとに披露
(五城目小学校学習発表会
十月二十七日)



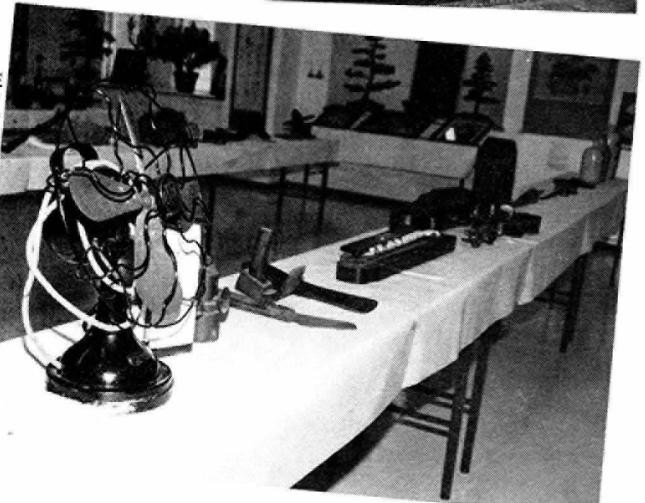
焼ソバは僕におまかせ!
(五高祭 十月二十七日)



美しい音色で「エーテルワイス」を吹奏
(内川地区学芸・文化祭
十月二十七日)



マニラ(フィリピン)の子供たちに支援金を送ると、生徒や先生たちによつて行われたバザー
(五高祭 十月二十七日)



生きがいセンターで行われた展示
(内川地区学芸・文化祭
十月二十七日)



たくさんの父兄を前に元気に発表
(大川地区住民慰安大会
十月二十七日)



今最後は全員で「ふるさと」を歌
いました(杉沢保・小・中学校学芸発表会
十一月十日)



小学生全員による「蛇喰伝説」
会場からは爆笑と拍手喝さい
(杉沢保・小・中学校学芸発表会
十一月十日)

